

介護ロボットセミナーを受講しました

仙台大学との高大接続事業の一環として、福祉未来創志科の1年生が「介護ロボットセミナー」と「コミュニケーション力向上セミナー」を受講しました。

日時・場所：11月22日 AM・仙台大学LC棟

講師：仙台大学体育学部健康福祉学科

堀江竜弥先生 後藤満枝先生

福田伸雄先生 篠原真弓先生

参加者：1年5組生徒 26名，教員2名



【はじめに】

堀江先生から、介護人材に関するお話や介護ロボットの可能性のお話や、仙台大学で学ぶことの魅力を教えていただきました。

その後、4つのブースに分かれて体験を中心としたセミナーを行いました。各ブースに大学生が2～3名ずつお手伝いいただきました。

《VR認知症の方が見ている世界》

最新のVRを使った映像が見られる機器を装着し、認知症の方が見ている世界を体験しました。



《コミュニケーションロボット》

「パルロ」「OriHime」の2台のコミュニケーションロボット。対面での双方向コミュニケーションと、パソコンを通しての対話を体験。

《かわいい自走型介護ロボット》

近づいて声をかけたり、手をかざしたりすると、様々な動きを見せます。ついつい追いかけてくようなかわいさです。

狭いフロアでも一緒に遊ぶことができました。



《マッスルスーツ》

タレントの浜田雅功氏がCMで実際に着用している、介護負担を軽減できるロボットです。

大学生が装着し、実際に重い荷物を持ち上げてみました。装着すると、軽々と楽に持ち上げることができました。



《人形型コミュニケーションロボット》

声をかける、揺らす、撫でるなどの行為に反応し、様々な声を出して反応を示します。

赤ちゃんの人形の他、猫や子犬のロボットもあります。かわいくてついつい抱き上げてしまいたくなるロボットでした。

《11/22午前中のセミナーから》



コミュニケーション力向上セミナー 演習～コミュニケーションの基本～



日時・場所：11月22日 PM・仙台大学LC棟

講師：仙台大学体育学部健康福祉学科

高崎 義輝先生 大山さく子先生

参加者：1年5組生徒 26名，教員2名

《高崎義輝先生による講義・演習》

介護の仕事は利用者とのコミュニケーションがとても大切。「共通性」「相補性」「積極性」を柱に、大学生6人と共に演習を行いました。

言葉を使わず、ジェスチャーと表情だけで誕生日を理解し合い、生まれた順番に丸く並ぶ「バースデイチェーン」を行いました。

《大山先生からのまとめのお話》

大学生へのインタビューでは、高校生と楽しい時間が過ごせたことへの喜びと、大学で学ぶことの素晴らしさなどをお話いただきました。

高校生にとっては未知の世界であり、あこがれの存在からのお話が聞けて、とても参考になりました。

《キャスター付きのイスでのダンス交流》



大学生と一緒にフォークダンス

音楽に合わせて、リズム良く、表情豊かに接することで、ほんのわずかな時間で一体感を得られます。

大学生と一緒にフォークダンス②

音楽やリズムを取るのが苦手な高校生も、自ら積極的に相手と関わろうとすることで、相補性はここでも発揮されます。



《参加した高校生からの感想》

1年5組 伊藤喜一

コロナ禍で、予定されていた文化発表会や体育祭にも参加できない状況が続いていたので、本日、仙台大学でこのように「介護ロボット講習会」と「コミュニケーションスキル向上セミナー」を開催していただき、本当にうれしかったです。同じ介護福祉士を目指す大学生から、最新のロボットについて教えて頂き、午後からはコミュニケーションスキルについての学びをサポートしていただきました。このように恵まれた環境で学ぶことができることを羨ましく思いましたし、また学びに来たいと思いました。

学食も食べたいメニューがたくさんあったので、是非また来て学食を利用したいと思いました。

